

# 從改名看台灣和日本的命名文化

賴錦雀

東吳大學日本語文學系教授

## 摘要

姓名乃是區分個人的標誌，也是自我認同的符號。日本和台灣在法律上父母親擁有為孩子命名的權利。不過，日本有將愛奴人的名字改成大和式名字的歷史，而台灣則有日本殖民政府將台灣人姓名改為日式名字以及國民黨政府強將原住民名字改成中國式姓名的歷史。在日本，「惡魔」君父親的自私主義和「王子樣」母親對孩子的深情表達，結果都傷害了自己的孩子。在台灣，則有一些女孩子被取名為「招弟」、「好仔」、「足仔」、「免仔」。目前日本和台灣人民都有更改名字的機會。然而，如「鮭魚之亂」，在台灣有少部分人出於貪婪或自私的想法而濫用改名法，更改了父母為自己所起的名字，以配合餐飲娛樂業的促銷活動。這種抱著好玩心態的作為，固然取決於個人的自由，不過，還是值得商榷。在日語教育活動中，思考與姓名相關的日本文化現況，想必能夠加深學生對日本文化的理解。本論文從台日比較文化的角度，探討命名的實態、改名的法規以及改名的狀況。

關鍵詞：命名文化、改名、鮭魚之亂、台日比較文化、日語教育

受理日期：2023年08月30日

通過日期：2023年10月20日

DOI：10.29758/TWRYJYSB.202312\_(41).0009

# **Looking at the naming culture of Taiwan and Japan through name changes**

Lai, Jiin-Chiueh

Professor, Department of Japanese Language and Culture,  
Soochow University

## **Abstract**

A name is a mark of distinction and self-identity. In Japan and Taiwan, parents have the legal right to name their children. However, Japan has the history of changing Ainu names into Yamato names, while Taiwan has the history of the Japanese colonial government changing Taiwanese names into Japanese names and the Komintang government changing aboriginal names into Chinese names. Now, in Japan, there are examples of children being hurt by "Akuma" or "Oozisama". In Taiwan, some girls were named "Tsiotī", "HóÁ", "TsiokÁ" and "BiánÁ". Today, people in Japan and Taiwan have the opportunity to change their names. However, as in the case of the "Salmon chaos", some of people in Taiwan have abused the name-change law out of greed by changing their names to fit in with the promotional activities of the catering industry. Thinking about naming from the perspective of comparative culture between Taiwan and Japan in Japanese language education activities can deepen students' understanding of Japanese culture. In this paper, from the perspective of comparative culture between Taiwan and Japan, I explore the naming customs, the regulations of name changing, the status of name changes in Taiwan and Japan.

**Keywords:** Naming Culture, Name Change, Salmon chaos, Taiwan-Japan Comparative Culture, Japanese Language Education.

# 改名から見る台湾と日本の命名文化

頼錦雀

東呉大学日本語文学系教授

## 要旨

名前は人との区別の標識であり、自分のアイデンティティを表すマーカーでもある。日本でも台湾でも法律では子の名を付ける権利は親にある。但し、日本ではアイヌ民族の名前の和名化、台湾では植民地民の名前の和名化と原住民の名前の漢名化のような歴史があった。そして、日本における悪魔ちゃんや王子様君のような命名は結果から見れば、子供を傷つけることになった。一方、台湾では「招弟」、「好仔」、「足仔」、「免仔」などの名を付けられた女の子がいた。2023年現在、日本でも台湾でも、喜ばしくない名前の場合は改名の機会がある。しかし、「鮭の乱」のように、台湾の一部の人はこの改名の法律を悪用して食べ物欲しさか私欲のために飲食業者や娯楽業者のイベントに合わせて、親からもらった大事な名前を変えた。このような遊び半分の使用状況はもちろん個々人の自由であるが、やはり考えものである。日本語教育現場ではこのような名前に関する日本事情を課題として学習者に考えさせたら、日本語を学ぶとともに日本文化理解の深化に繋がると思われる。本論文では、台日比較文化の観点から (1) 子の名を付けるしきたり (2) 改名に関する法令 (3) 改名騒動について述べる。

キーワード：命名文化、改名、鮭の乱、台日比較文化、日本語教育

# 改名から見る台湾と日本の命名文化

頼錦雀

東呉大学日本語文学系教授

## 1. はじめに

名前は人との区別の標識であり、自分のアイデンティティを表すマーカーでもあるが、日本語教師として、次のような問題で頭を抱えたことを体験している。一つは学習者の漢字表記の名前の読み方のことであるが、もう一つは日本人の名前の漢字表記の読み方のことである。2022年5月17日に日本の氏名の読みがな法制化の中間案がまとめられ<sup>1</sup>、日本人名漢字表記の読み方の難しさがあらためて浮き彫りになった。

筆者は台湾人であるが、大学一年生の時、名前を日本人の先生に日本式の音読で呼ばれたので、この名前の漢字表記の日本式読み方は今でも使われている。教え子たちの名前もある時期まで、大学時代の恩師に教わったように日本式の音読みにした。2023年現在では、台湾人日本語教師、台湾人日本語学習者の多くは日本植民地時代からのしきたりと同じように、日本式の読み方で名乗っている者は少なくない<sup>2</sup>。

しかし、1991年に客員教師としてシンガポール国立大学に赴任した際、一時間目に学生の名前をカタカナで教えなさい、と学科主任に要求された。多言語社会のシンガポールでは名前の母語発音をローマ字表記にするのがしきたりであるので、学生に名前を口頭で教えてもらってからそれをカタカナ表記にして教えてやった作業であった。その扱い方が台湾と全然違うのでカルチャショックを受けた。また、韓国の学会の依頼によって講演に行ったとき、開会の前に司

---

<sup>1</sup> NHK2022年2月17日放送「“戸籍の氏名に読みがな”法制化へ中間試案 法制審議会の部会」による。

<sup>2</sup> 一方、台湾では日本人の名前を日本語読みにする人もいるが、多くはその漢字表記の中国語読みをしている。

会者から、名前を中国語の「原音読みでよろしいでしょうか」と丁寧  
に聞かれて心を打たれた。自分の国の言葉、そして自分が尊重され  
れたと思ったからである。

日本でも台湾でも法律では子の名を付ける権利は親にある。但し、  
残念ながら、日本ではアイヌ民族の名前の和名化、台湾では植民地  
民の名前の和名化と原住民の名前の漢名化のような歴史があった。  
そして、日本における悪魔ちゃんの父親のエゴイズムや王子様君の  
母親の子供に対する愛情表現は結果から見れば、子供を傷つけるこ  
とになった。台湾では「招弟」、「好仔」、「足仔」、「免仔」などの名  
を付けられた女の子がいたが、それは男尊女卑の思考様式による結  
果だと思われる。2023年現在、日本でも台湾でも喜ばしくない名前  
の場合は改名の機会がある。しかし、台湾の一部の人はこの改名の  
法律を悪用して食べ物欲しさか私欲のために飲食業者や娯楽業者の  
イベントに合わせて、親からもらった大事な名前を変えた。このよ  
うな遊び半分の使用状況はもちろん個々人の自由であるが、やはり  
考えものである。

『日本語学』では「特集 命名」<sup>3</sup>、『月刊言語』では「特集 命名  
世界」<sup>4</sup>がまとめられたように、命名は文化の大切な一環だけではな  
く、言語学においても重要な研究項目の一つである。日本語教育現  
場では名前に関することを課題として学習者に考えさせたら、日本  
語を学ぶとともに日本文化理解の深化に繋がるとと思われる<sup>5</sup>。

本論文では、日本語教育における文化理解の一環として、台日比  
較文化の視点から (1) 子の名をつける現状 (2) 改名に関する法令  
(3) 改名騒動などについて述べる。

---

<sup>3</sup> 『日本語学』1991年6月号。

<sup>4</sup> 『月刊言語』1997年26巻4号。

<sup>5</sup> 水谷修(1990)「日本事情とは何か」では、日本事情の教育内容を日本語教育と深く結びつけて行うことは効果的でもあるし容易でもある、と述べられている。

## 2. 先行研究

ここでは日本人名と台湾人名の先行研究について触れたい。管見では日本人名について次のような先行研究がある。頼（1994）<sup>6</sup>は中国語の人名と対照しながら、形容詞による日本人名の音、形、義の実態及び特質を考察したものである。結果、人名における形容詞の多くは現代語ではなく、文語的要素を持つことが分かった。そして、語彙的には人名用形容詞は限られ、100ぐらいしか用いられていない。また、日本の「常用漢字表」における漢字の読み方だけでは人名形容詞の解読ができないことも分かった。

遠藤（2002）<sup>7</sup>は根室場所の関係資料を分析し、アイヌの命名規則と幕府の同化政策について論じたものである。岡野（2015）<sup>8</sup>は明治末期から現代にかけて約100年間の男女の名前を振り返り、これらの名前から時代の世相を読み解いたものである。明治・大正期から現在まで変わらずに見られるものは、子に対する願望や期待を表すものである。しかし現在では親の希望は多様化している。そしてそれらが、多様な名前に表現されているといえる。しかも一見しただけでは、名前に込められた親の希望が判別しにくい名前となっている。

徳田（2004）<sup>9</sup>は読みにくい名前を名付けの心理から見た内容である。幼稚園児の名前の中で、よく読み間違えられる名前、あるいは読めないと言われる名前を取りあげてみた結果、読みにくいものとして、その漢字の音訓にない読み方をしているケース、なじみのない漢字を使っているケースが挙げられた。

荻原（2015）<sup>10</sup>は21世紀初頭の日本における個性的な名前の特徴を体系的に記述し、その類型化を行う論述である。個性的な名前を

---

<sup>6</sup> 頼錦雀（1994）「日本人名における形容詞」『東呉日本語教育學報』17、pp.57-78。

<sup>7</sup> 遠藤匡俊（2002）「根室場所におけるアイヌの命名規則と幕府の同化政策」『歴史地理学』44-1、pp.48-59。

<sup>8</sup> 岡野富美代（2015）「名前からみる世相 近代 100 年における変遷」『天理大学考古学・民俗学研究室紀要』16、pp.47-60。

<sup>9</sup> 徳田克己（2004）「名づけの心理 2：読みにくい名前の分析」『日本教育心理学会総会発表論文集』46、p.623。

<sup>10</sup> 荻原祐二（2015）「近年の日本における個性的な名前の特徴とその類型」『人間環境学研究』第 13 卷 2 号、pp.177-183

読み、漢字、組み合わせという類型に分けて、次のような特徴を述べている。

表1 個性的な名前の特徴とその類型

種類		特徴	例
1 読み	1-1一部読み	一般的な読みの一部を用いる	心菜：ここな 心春：こはる 拓音：たくと 海音：かいと
	1-2外国語読み	外国語（英語やラテン語・フランス語など）の読みを与える	海：まりん 光：らいと 月：るな 空：しえる
	1-3イメージ読み	漢字の持つイメージを読みとして与える	星：あかり 月：らいと
2 漢字	2-1低使用頻度漢字	使用頻度が相対的に低い漢字を与える	宥斗：ゆうと 宥人：ゆうと
	2-2読まない漢字	読まない漢字を含める	大空：そら 心結：こころ
3 組み 合わせ	1-2外国語読み +2-2読まない漢字	外国語の読みを与えて、読まない漢字を含める	月雫：るな 愛月：るな
	1-2外国語読み +1-1一部読み	外国語の読みを与えて、その一部を読む	琉月：るな 月菜：るな
	1-3イメージ読み +2-2読まない漢字	漢字の持つイメージを読みとして与えて、読まない漢字を含める	輝星：らいと 大翔：つばさ
	1-3イメージ読み +1-1一部読み	漢字の持つイメージを読みとして与えて、その一部を読む	希星：きらら 輝星：きらら

（荻原（2015）による）

秋田（2021）<sup>11</sup>は、「水月 /mizuki/」、「咲希 /saki/」、「花奏/kanade/」のような日本人名を対象に、漢字と音韻との関係を考察した論述である。「水月 /mizuki/」型は、1つ目の漢字と2つ目の漢字が一部のみ音韻的に重なる。「咲希 /saki/」型は1つ目の漢字のみで全体の読みが完成するにもかかわらず、2つ目の漢字が冗長的に追加されている。「花奏/kanade/」型は、「咲希」型とは反対に、2つ目の漢字が全体の読みを与え、1つ目の漢字が冗長的に付加されている。

<sup>11</sup> 秋田喜美（2021）「日本語の人名における表記の冗長性—関係形態論の観点から」『国立国語研究所論集』21、pp.1-13。

西原(2022)<sup>12</sup>は沖縄県の女学生の改名について考察した。沖縄県女子師範学校・沖縄県立(第一)高等女学校女学生の「改名」とは、伝統的な個人名「童名(ワラビナー)」の日本的な名「ヤマト名(ヤマトナー)」への改変をさす。1900年代初頭に始まり、大正年間には両校女学生の間で流行したこの改名は、改変の方向が「ヤマト(日本)化」である以上、沖縄の同化、統合化という文脈上に配置される事象である、と指摘されている。

台湾人名は漢名に関する記述はこの度の考察では見られなかったが、原住民名については次のような論述がある。丘(2019)<sup>13</sup>は「原住民」という言葉の起源を分析し、戦後、「原住民」が市民権を得た道程を述べた論述である。黄(2019)<sup>14</sup>は「還我姓名」(名前を返せ)における「原住民族人名譜」の重要性を述べている。原住民は自分の名前を元の原住民式に改名できるが、実際の登録者数が少ない。その理由は用字、格式、漢名との違いなどが挙げられる。よって命名のルールにあたる「原住民族人名譜」が必要だと主張されている。林(2019)<sup>15</sup>は原住民が伝統的な名前を登録する困難点を、1.氏族の採録階層、2.家屋名登録の可能性、3.創姓、と挙げている。一口に原住民と言っても、部族によって命名の文化が違うし、自分の氏族の名を知らないケースもあるので、伝統的な名前を登録するのは難しいことである。

本論文では以上の論述を参考に比較文化の視点から現代における台湾と日本の命名と改名を考察するが、歴史上の改姓名についても少し触れる。

---

<sup>12</sup> 西原彰一(2022)「沖縄県女子師範学校・沖縄県立(第一)高等女学校における女学生の「改名」—女学生の「個」と「同化」」『総研大文化科学研究』18、pp.(17)166-(48)135。

<sup>13</sup> 丘延亮(2019)「「原住民」命名及其政治的論詰解構」『台湾原住民研究論叢』25、pp.41-65。

<sup>14</sup> 黄季平(2019)「原住民族の人名體系:「還我姓名」的抉擇」『国立民族学博物館調査報告』147、pp.31-43。

<sup>15</sup> 林修澈(2019)「台湾原住民族傳統人名登録的困境」『国立民族学博物館調査報告』147、pp.15-30。



### 3. 台湾と日本の命名事情

#### 3.1 台湾の場合

##### 3.1.1 原住民名の場合

台湾の原住民の命名は族別によって違うが、次のようなパターンに分けられる。(一) 親子連名制 (1) 苗字を使わないで、子の名前の後に父親か母親の名前を付ける。(2) 子の名前の後に父親の名前と氏名を付ける。(二) 家屋制 親子連名に家屋名を付ける。(三) 氏名制 子の名前の後に氏名を付ける。(四) 第一子中心制 親が長男か長女の名前に変える<sup>16</sup>。

##### 3.1.2 漢名の場合

台湾では赤ちゃんが生まれると、親が自分でその子の名を付ける人もいるが、占いに名づけを頼む人も少なくない。「算命」という占いは生年月日と干支によって人の運命を占うということであるが、昔から漢人社会で伝承されてきた文化の一つである。親が自分で名を付ける場合でも、占いに付けてもらう場合でも漢字表記を使うのがしきたりである。例えば、李登輝、蔡英文、陳建仁、賴清徳、蘇貞昌など。氏名は個々人を代表するマーカーなので戸籍登録の氏名を教育部編『國語辭典』か『辭源』、『辭海』、『康熙字典』に収録された文字を使うべきだという法令がある<sup>17</sup>。

台湾・内政部の 2018 年戸籍登録資料の統計結果によると、名前の上位 10 位は次のようになっている<sup>18</sup>。男性は「家豪（14,208 人）、志明（13,375 人）、俊傑（12,587 人）、建宏（12,470 人）、俊宏（11,514 人）、志豪（10,949 人）、志偉（10,905 人）、文雄（9,826 人）、承翰（9,589 人）、冠宇（9,580 人）」であり、女性は「淑芬（31,923 人）、淑惠（29,947 人）、美玲（27,355 人）、雅婷（24,186 人）、美惠（23,515 人）、麗華（23,336 人）、淑娟（22,943 人）、淑貞（22,754 人）、怡君（20,919 人）、淑華（19,793 人）」である。世代別で見

---

<sup>16</sup> 内政部（2018）『全國姓名統計分析』p.20 による。

<sup>17</sup> 内政部（2015）「姓名條例」による。

<sup>18</sup> 内政部（2018）『全國姓名統計分析』p.56 による。

ると、1911～2018年6月の各世代の人名上位3位は表2のようになる。単名もあるが、多くは二字漢字による名前である。日本植民地時代は漢字一つの単名があったが、それは「あきら(明)」、「たけし(健)」、「玉(たま)」と呼ばれたと思われる。そして1950年代以降、女性の「英」止めの名前が少なくなり、1970年代以降、男性の「雄」止めの名前が少なくなり、上位3位にはならなかった。それに対して、男性には「志」、女性には「淑」、「雅」がつく名前が上位によく上った。1990年代における命名は男性でも女性でも有名人や小説、ドラマの登場人物の影響による命名が見られる。例えば、王永慶、蔡萬霖(台湾の企業家)、黄俊雄(台湾布袋戲の大家)、「語嫣」(金庸『天龍八部』の登場人物)など。

表2 世代別に見る台湾の人名上位3位

生年	男性の名前	女性の名前
1911～1920年	明、金水、健	秀英、英、玉
1921～1930年	金龍、金水、金生	秀英、玉蘭、玉英
1931～1940年	正雄、文雄、武雄	秀英、玉蘭、玉英
1941～1950年	正雄、武雄、文雄	秀英、秀琴、美玉
1951～1960年	金龍、進財、榮華	麗華、秀琴、秀美
1961～1970年	志明、志成、文雄	淑芬、美玲、淑惠
1971～1980年	志偉、志明、建宏	淑芬、雅惠、淑娟
1981～1990年	家豪、志豪、志偉	雅婷、怡君、雅雯
1991～2000年	家豪、冠宇、冠廷	雅婷、怡君、怡婷
2001～2010年	承恩、承翰、冠廷	宜蓁、欣妤、詩涵
2011～2018年6月	承恩、宥廷、品睿	詠晴、子晴、品妍

(内政部(2018)「全国姓名統計分析」による)

## 3.2 日本の場合

### 3.2.1 アイヌ名の場合

北海道立図書館(2011)によると、アイヌ人は元来、個人名しかなかった<sup>19</sup>。その名前も大和民族とだいぶ違う。アイヌ民族博物館(1993)<sup>20</sup>によれば、アイヌの子供は悪い神様に存在を知られると悪さをされる恐れがあるから、生まれてすぐに名前を付けられるの

<sup>19</sup> 北海道立図書館(2011)「明治期のアイヌ人の和人名化について」による。

<sup>20</sup> アイヌ民族博物館監修(1993)「成長」『アイヌ文化の基礎知識』、pp.188-189。

ではなく、男の子か女の子を言い分けるような呼び名があるだけで、少し大きくなって抵抗力がついてから、そのしぐさや特徴をもとに名前が付けられた。しかし、この名前は一生同じ名前であるわけではなく、いろいろな理由で変えられるために、何回も名前が変えられた人もいた。また、文字を持たないので、アイヌ民族は名前を文字で表記することもなかった<sup>21</sup>。

### 3.2.2 和名の場合

日本では「子の名には常用平易な文字を用いなければならない」という、戸籍法第50条第1項による規定(昭和22年司法省令第94号)がある。2022年の「令和四年法務省令第七号」の「戸籍法施行規則」改正によると、いわゆる「常用平易な文字」は次のようなものである。

- 一 常用漢字表（平成二十二年内閣告示第二号）に掲げる漢字（括弧書きが添えられているものについては、括弧の外のものに限る。）
- 二 別表第二に掲げる漢字
- 三 片仮名又は平仮名（変体仮名を除く。）

（令和4年4月1日執行「令和四年法務省令第七号」による  
「戸籍法施行規則」改正による）

「内閣告示第2号」で告示された「常用漢字表」は2136字あり、2017年の「戸籍法施行規則の一部を改正する省令（平成29年法務省令第32号）」によって告示された「別表第二」の人名用漢字は863字あるので、人名で使える漢字は合わせて2999字ある<sup>22</sup>。現代、日本社会で活躍している人の名前の実態を『週刊朝日』2023年1月27

<sup>21</sup> アイヌ民族博物館監修（1993）『アイヌ文化の基礎知識』「成長」項目による。

<sup>22</sup> 人名の使える漢字に関する法令は平野俊彦（2022）「常用漢字・人名用漢字・平仮名・片仮名－法令用語積義 その9」『広島法科大学院論叢』18、pp.1-70を参照。

日号を対象に考察すると、次のような結果を得た<sup>23</sup>。

表3 『週刊朝日』2023年1月27日号における女性名

氏名	名前	名前の特徴	氏名	名前	名前の特徴
下重曉子	あきこ	子	松岡瑛理	えり	音読み 万葉仮名
渡辺祥子	さちこ	子	橋本環奈	かんな	音読み
黒田民子	たみこ	子	竹末新奈	しんな	音読み 万葉仮名
内館牧子	まきこ	子	中村千晶	ちあき	音読み+訓読み
出村真理子	まりこ	子	松永美德	みほ	音読み 万葉仮名
林真理子	まるこ	子	室井佑月	ゆづき	音読み+訓読み
斎藤美奈子	みなこ	子	松任谷由実	ゆみ	音読み 万葉仮名
山田美保子	みほこ	子	平原綾香	あやか	訓読み
菊池由貴子	ゆきこ	子	坂口さゆり	さゆり	さゆり 平仮名
富田ユキ子	ゆきこ	片仮名+子			

表4 『週刊朝日』2023年1月27日号における男性名

氏名	名前	名前の特徴	氏名	名前	名前の特徴
南伸坊	しんぼう	坊	亀和田武	たけし	形容詞文語終止形
東海林さだお	さだお	お	塩田武士	たけし	形容詞文語終止形
山科けいすけ	けいすけ	すけ	佐々木央	ひさし	形容詞文語終止形
唐澤俊介	しゅんすけ	介	延江浩	ひろし	形容詞文語終止形
酒井勇輔	ゆうすけ	輔	下野康史	やすし	形容詞文語終止形
春風亭一之輔	いちのすけ	輔	丸山茂樹	しげき	形容詞文語連体形
岸田文雄	ふみお	雄	横尾忠則	ただのり	形容詞語幹+名詞
司馬遼太郎	たろう	郎 出生順版 漢数字	大場正明	まさあき	形容詞語幹並列
江副拓郎	たくろう	郎	高橋雅博	まさひろ	形容詞語幹並列
永江朗	あきら	朗 形容動詞語基	古賀茂明	しげあき	形容詞語幹並列
嵐山光太郎	たろう	郎 出生順番	浅井秀樹	ひでき	動詞+名詞
田原総一郎	いちろう	出生順番 漢数字 朗	東尾 修	おさむ	動詞終止形
杉山太一郎	たいちろう	郎 出生順版 漢数字	小林 修	おさむ	動詞終止形
わたなべりんたろう	りんたろう	出生順番 平仮名	下山進	すすむ	動詞終止形
帯津良一	りょういち	出生順番 漢数字	若松勉	つとむ	動詞終止形
池谷裕二	ゆうじ	出生順番 漢数字	宇都宮ミゲル	ミゲル	動詞終止形
渡辺和博	かずひろ	名詞+形容詞	村井重俊	しげとし	動詞と形容詞の並列
刑部芳則	よしのり	形容詞+名詞	武田砂鉄	さてつ	音読み
黒川博行	ひろゆき	形容詞+動詞	平野秀大	しゅうた	音読み
首藤由之	よしゆき	形容詞+動詞	三浦優輝	ゆうき	音読み
			鈴木七瑠	なる	音読み 萬葉仮名

女性の場合、名前の表記は漢字、平仮名、片仮名の三種類が使わ

<sup>23</sup> 『週刊朝日』2023年1月27日号における人名をランダムに選んで整理したものである。

れている。そして、19人のうち、名前に女性マーカーの「子」が入ったのは10人いるが、漢字が訓読みになったのは2例で、音読みになったのは7例ある。「由実」のような漢字の音を使った万葉仮名の例も見られた。但し、昔流の亀、鶴、龍が付く名<sup>24</sup>は見られなかった。

男性の場合、名前の表記は漢字、平仮名、片仮名の三種類が使われている。構成から見れば、41人のうち、男性マーカーの「お」、「すけ」、「坊」、「雄」、「輔」、「郎」、「朗」、漢数字、出生順版の「太郎、一郎」、形容動詞語基、「形容詞＋名詞」、「形容詞＋動詞」、形容詞文語終止形、形容詞文語連体形、「形容詞語基＋名詞」、形容詞語基並列、「動詞＋名詞」、動詞終止形、動詞と形容詞の並列、漢字の音読みなどの形式がある。「七瑠（なる）」のような万葉仮名の例も見られた。

時代別から見れば、日本人名には表5のような変遷が見られる<sup>25</sup>。昔、男性の名に多かったのは勇猛で強いと考えられる「虎、熊、猪」、長寿と考えられる「鶴、亀」、縁起のいい「松、竹、梅」、季節を表す「藤、菊」であった。女性の名に多かったのは「虎、熊、鶴、亀、蝶」<sup>26</sup>であったが、「蝶」は男子名には見られなかった。但し、漢字を見ても読めない名前がある。というのは漢字の読みは自由だからである。例えば、明治安田生命の調査における女の子の名前の上位で令和2年、4年に1位、3年に2位になった「陽葵」は情報メディア「ままでのて」によると、「はるあ、はるき、ひいろ、ひな、ひなき、ひなた、ひまり、ひまわり、ひより」などの読み方がある<sup>27</sup>。「花宙（ぴかちゅう）」<sup>28</sup>も難読の名前の一つである。なお、昭和時代に

---

<sup>24</sup> 曾野綾子（1979）『日本人の名前』pp.5-6による。また、曾野（1979：12）によれば、「カメ子」という名前のために、結婚が破談になった女性がいた。

<sup>25</sup> 明治安田生命（2020）「時代による名前の人気の変遷」及び明治安田生命（2023）「生まれ年別名前ベスト10」による。

<sup>26</sup> 岡野富美代（2015）「名前からみる世相 近代100年における変遷」『天理大学考古学・民俗学研究室紀要』16、pp.47-60を参照。

<sup>27</sup> 「ままでのて」2023年1月20日記事「「陽葵」の意味・読み方【人気の名前特集 vol.6】」による。

<sup>28</sup> 『辞苑』（1935。博文館）にも、『広辞苑』（1955。岩波書店）にも『明鏡国語辞典』（第三版。2021。大修館書店）にも「花一（ぴかいち）」が項目として掲載されているが、「花」を「ぴか」と読むのは普通ではない。

入ったとき、「昭」「和」は人名としてよく用いられたが、平成時代、令和時代に変わった時は「平」「成」「令」「和」がよく用いられる傾向にはならなかったようである。

表 5 日本の時代による名前の人気の変遷

生年	男性の人気名前	女性の人気名前
大正時代 (1912～1926年)	正一、正二、正三、清	千代、千代子、文子
昭和に改号となった当初 (1926年ごろ)	昭二、昭、昭三	和子
戦時中 (1937～1945年)	勇、勝、功	和子、幸子
昭和20年代 (1945～1955年)	博、茂	和子、幸子
昭和30年代 (1955～1965年)	誠、浩	恵子、久美子、由美子、美智子
昭和40年代 (1965～1975年)	誠、浩	由美子、真由美、明美、直美
昭和50年代 (1975～1985年)	大輔	愛
昭和60年代～平成1桁 (1985～1997年)	翔太、拓也、健太、翔平	愛、美咲、成美、紀子、早紀、雅子
平成10年代 (1998～2008年)	大輝、大翔、悠斗、悠希、	さくら、陽菜
平成20～30年代 (2009～2019年)	大翔、蓮、悠真	陽菜、「結」が付く名
令和1～4年 (2019～2022年)	蒼、樹、蓮	陽葵、凜、詩、「結」が付く名

(明治安田生命「生まれ年別名前ベスト10」及び明治安田生命(2020)「時代による名前の人気の変遷」による。)

日本人の名前の漢字が読めないのは日本語教育現場だけの問題ではなく、日本の教育機関でも難問になっている。例えば、「遥風(はるか)」、「大陸(ヒロム)」など<sup>29</sup>。京都文教大学の小林康正教授によれば、1990年代に雑誌が人名のデータベースを作って人に提供したが、そのデータベースに載っている名前を見て、その名前と少し違う名前をつけるという形で、真似てずらすという実践を行う親

<sup>29</sup> NHK クローズアップ現代 (2019) による。

がいるので、漢字を見ても読めない名前が増えた<sup>30</sup>。慶応義塾大学の宮田裕章教授はこのような名づけについて、「今まで三種の神器だったり、高度経済成長期に経済の発展を同じようなスタイルで楽しんできた人々が、いわゆる差異化の中でファッションだったり、音楽だったり、個性というものを差異化しながら楽しむ。この中に名付けというものが入ってきて、多様な名前が生まれてきた。」と述べている<sup>31</sup>。「右に倣え」というしきたりとは違って、人との違いによる自己表示のアピールを重視する現れである。

### 3.3 台湾と日本の比較

台湾と日本の人間の命名事情を比べてみると、日本では漢字、平仮名、カタカナの表記が使われるが、台湾では漢名は漢字、原住民名は漢字とローマ字が使用可である。そして、台湾の人名の漢字表記は『康熙字典』に載っている字が許容範囲にあるので4万8千字ぐらいある<sup>32</sup>。それに対して、日本における子の名は使われる漢字表記の字数が少ないが、漢字の読み方に恣意性がある。常用漢字表に載っている音読み、訓読みのほかに、慣用音、万葉仮名がある。例えば、「心」を「コ」、「ココ」と読む事例もある<sup>33</sup>。

## 4. 改名について

本節では改名について考える。台湾では日本植民地時代の改姓名、1990年代の原住民の改姓名及び2022年の食べ物欲しさによる改名騒動のことがあり、日本では1799年の蝦夷地を直轄地として実施された同化政策によるアイヌ名の和名化、1993年の悪魔命名騒動と

<sup>30</sup> NHK クローズアップ現代 (2019) による。

<sup>31</sup> NHK クローズアップ現代 (2019) による。

<sup>32</sup> 『康熙字典』に載っている漢字の字数は諸説があるが、台湾・中央研究所中文詞知識小組「康熙字典知識本體」HPでは4万8千字あまりあると述べられている。

<sup>33</sup> このような漢字表記名の読み方はいわゆるキラキラネームだけではなく、地名のことも相撲力士の四股名のことも、日本語教育における難問になる。例えば、地名の長万部（おしゃまんべ）、積丹（しゃこたん）、鳳至（ふげし）、皆生（かいけ）、京終（きょうばて）、指宿（いぶすき）、相撲力士の四股名の「碧天大市（あおぞら だいち）、朝乃翔嘴矢（あさのしょう はじめ）など。

その改名などのことが思い出される。

## 4.1 台湾の場合

### 4.1.1 原住民名の場合

台湾原住民委員会主任委員夷將・拔路兒 Icyang Parod が 2022 年 1 月 22 日に「自己的名字：臺灣原住民族傳統命名文化特展」（自分の名前：台湾原住民族傳統命名文化特展）における挨拶<sup>34</sup>で述べたように、原住民の命名文化は清国の賽夏族(サイシャット)に対する漢姓付けの強制政策、日本植民地政府の改姓名政策、1945 年の国民政府の漢名への改名政策の犠牲になった。その結果、名前が代表する親族関係が破壊され、同じ家族なのに漢姓が違うということもあった。

1984 年に「台湾原住民族權利促進會」による「正名運動」が行われ、1995 年に立法院で「姓名條例」修正案が通過し、やっと伝統の名前を漢字表記で身分証明書に記載される権利をもらった。2003 年に修正案が通過し、原住民の名前は漢名か漢字音訳の族名にローマ字表記の原住民語の族名が併記される権利をもらった。また、身分証明書における登録字数の制限があったが、字数が多い場合では手書も可というようになった<sup>35</sup>。但し、原住民の伝統氏名への回復は、内政部の資料によると、2008～2017 年は 1,832 人（男性 901 人，女性 931 人）に止まっている。

### 4.1.2 漢名の場合

筆者の小さい時、「乞食」の外に、「罔市（育ててみよう）、罔腰（育ててみよう）、査某（女）、菜頭（大根）、水牛（水牛）」などの台湾語による名付けが見られた。漫画家の劉興欽も言ったように、戦後当初、台湾人は百姓が多く、教育をあまり受けなくて、知っている漢字も少ないので子の名を付けるのが一大事であった。また、あまり気づかれないような名前は悪い神様に知られないようになり、悪

---

<sup>34</sup> 夷將・拔路兒 Icyang Parod(2022)國家圖書館 HP による。

<sup>35</sup> 台湾における改名関係の法令は、内省部（2018）「姓氏法規修正歷程」（pp.16-15）による。



表6 世代別から見た男性の改名

表二十九 各世代前十大男性最常被變更及變更後の名字

單位：人

出生年	最常被變更的名字	人數	最常變更後の名字	人數
民國1年至9年	乞食、人信、伯世、傳璽、兆郎、其峰、則尹、勝芳、千財、四海	10	世洪、中庸、人聖、人財、仲桂、伯世、俊仁、俠寶、信廣、信聰	10
民國10年至19年	乞食、偉、國棟、揚、林、榮華、乃昌、君侯、大山、建中	27	正、誠、進添、人豪、信榮、傑、兆祥、卯、君侯、國安	23
民國20年至29年	金水、正雄、武雄、清山、三郎、天送、俊雄、文雄、春雄、清和	81	永富、勝騰、勝雄、永承、宥全、建宏、慶豐、永泰、金龍、國榮	68
民國30年至39年	正雄、武雄、文雄、金龍、國雄、進財、榮華、文龍、義雄、進興	312	建宏、永富、家宏、秉宏、秉豐、金龍、建霖、信宏、家豪、建豐	267
民國40年至49年	進財、金龍、進興、文龍、明德、明輝、聰明、文章、金水、福來	926	秉豐、家宏、秉宏、建宏、永富、東霖、建豐、家豪、建華、宏洋	1,023
民國50年至59年	志明、志成、金龍、文雄、志強、志忠、志忠、文龍、俊雄、志宏	2,346	建宏、秉豐、家豪、家宏、永承、建凱、秉宏、冠霖、建豐、駿騰	1,851
民國60年至69年	志偉、志明、志強、志豪、志忠、志宏、俊傑、俊宏、建宏、志成	5,605	家豪、秉宏、家宏、建宏、建榮、家榮、永承、秉豐、冠霖、承翰	3,431
民國70年至79年	家豪、志偉、志豪、俊傑、俊宏、建宏、宗翰、志明、志強、志宏	4,580	家豪、家宏、承翰、秉宏、建宏、冠霖、家銘、冠廷、睿騰、柏霖	2,643
民國80年至89年	家豪、冠宇、冠廷、宗翰、俊傑、承翰、柏翰、彥廷、冠霖、宇軒	3,627	家豪、家宏、秉宏、承翰、冠廷、冠宇、建宏、冠霖、柏翰、家璋	3,082
民國90年至99年	承恩、冠廷、承翰、冠宇、宇翔、家豪、柏翰、俊傑、冠霖、柏宇	1,820	承恩、承翰、彥廷、冠廷、柏翰、家豪、宇翔、秉宏、冠宇、柏霖	1,364
民國100年至106年	承恩、宇翔、承翰、宥廷、品睿、家豪、子翔、宇恩、承佑、冠宇	371	承恩、承翰、品睿、宥廷、宥辰、宇翔、彥廷、柏睿、子睿、家豪	310

內政部戶政司107年6月30日編製

表7 世代別から見た女性の改名

表三十 各世代前十大女性最常被變更及變更後の名字

單位：人

出生年	最常被變更的名字	人數	最常變更後の名字	人數
民國1年至9年	梅、曲、柳、玉、緞、儉、五妹、六妹、冊、再隨	16	柳、緞、却、月娥、桂花、樹葉、金花、阿里、鳳、九妹	21
民國10年至19年	緞、却、寶玉、月娥、月里、梅、樹蘭、玉珠、秀枝、素霞	36	緞、玉英、秀蘭、秀英、月娥、玉、葉、鳳英、寶玉、月嬌	81
民國20年至29年	雪、梅、秀琴、玉蘭、月娥、秀英、玉、玉英、岡市、富美	198	秀英、月娥、玉蘭、秀琴、雪、秀蘭、梅、寶珠、金蓮、富美	317
民國30年至39年	秀英、秀琴、月娥、美玉、玉英、月英、玉蘭、梅、秀蘭、秀枝	934	秀英、秀琴、美玉、秀鳳、玉英、秀蘭、秀美、月娥、富美、美雲	1,110
民國40年至49年	秀琴、麗華、秀美、秀英、淑貞、美麗、麗珠、美玉、美珠、月娥	5,083	宜葉、麗華、秀美、秀琴、秀葉、美玉、秀英、秀鳳、美珠、美惠	2,949
民國50年至59年	淑芬、淑惠、美玲、淑貞、美惠、淑娟、淑美、麗華、淑玲、淑華	13,198	宜葉、家葉、莉葉、秀葉、宜庭、美玲、宜臻、淑惠、淑芬、美惠	3,632
民國60年至69年	淑芬、雅惠、淑惠、淑娟、雅玲、美玲、淑貞、美惠、淑華、淑玲	17,788	宜葉、家葉、沛晴、家榛、宥葉、家榆、品葉、宜臻、宜庭、家好	5,941
民國70年至79年	雅婷、怡君、雅雯、欣怡、雅惠、雅玲、怡婷、淑芬、婉婷、雅萍	12,580	宜葉、家葉、品葉、宥葉、沛晴、宜庭、湘芸、子涵、心瑜、佳穎	4,481
民國80年至89年	雅婷、怡君、雅雯、怡婷、詩涵、怡萱、雅涵、欣怡、雅筑、鈺婷	5,132	宜葉、家葉、宜庭、宥葉、子涵、家好、鈺婷、芷芸、雅婷、家榛	3,287
民國90年至99年	詩涵、宜葉、雅婷、欣怡、怡君、欣好、怡婷、怡萱、姿好、思好	1,432	宜葉、宥葉、宜庭、思好、子涵、子芸、芷柔、宜臻、鈺婷、欣好	1,502
民國100年至106年	子晴、詠晴、品妍、思好、羽彤、禹彤、妍希、品萱、子涵、詩涵	351	品妍、宜葉、子晴、宥葉、雨彤、羽彤、品萱、語彤、品好、品葉	351

內政部戶政司107年6月30日編製

(內政部(2018)『全國姓名統計分析』 p.63 による)

さをされないで済むのですくすく育つようになると思われたのである<sup>36</sup>。戦後、そのようなぞんざいな名前が殆ど見られなくなった。一方、親が戦後台湾に来た子は「台生」と名付けられた。1960～1999年代では男性の「俊雄」、「嘉雄」、「志雄」、「志明」、「家豪」、「宗翰」、女性の「淑芬」、「淑玲」、「淑華」、「美珍」、「美華」、「美玲」、「美鳳」、「素珍」、「素娟」など上品だと思われる字の名前が付けられた。

このような人気のある名前は「菜市场名（市場に溢れた名前）」と呼ばれることがある。大学入学試験の結果が発表されるたびに新聞沙汰になった。人と同じ名をもって不便になった場合は法令によって改名ができる。張（2005）によれば、2003年の「姓名條例」修正案が通過した後、多くの人と同じ名前が嫌で改名した若者は少ない。台北市民生局では2003～2005年に改名を申請した人は毎年1万5千件あり、2、30年前の2～3倍になっている。台中県戸政課では2005年までの2年間、毎年1万2千件の改名申請があった。台南市西区戸政所は2005年6月現在では改名は毎月4、50件ある。それによって、戸籍係は対応に困ると悲鳴を上げていた<sup>37</sup>。

#### 4.1.3 改名騒動

台湾では人目を引くために超長い名前に改名した事例があった。例えば、嘉義の市議員選挙、立法委員選挙、市長選挙で立候補した黄宏成は2010年に「黄宏成台湾阿成」に、2013年に「黄宏成台湾阿成世界伟人」、2015年に「黄宏成台湾阿成世界伟人财神总统」（15字）に改名して台湾で一番長い人名になった。その後、2020年の台東出身のユーチューバー「晋瑋台湾台東之子大麻烦要投油土伯欧萨斯」（19字）、2021年の台南安平區の運將の「黄大嵐是喜神财神衰神福德正神所有神祝福的宝贝小心肝」（25字）に超えられた<sup>38</sup>。

食欲か娯楽のための改名もある。例えば台湾スシローが引き起こ

<sup>36</sup> 張夢瑞(2005)「有改有保庇?—改名風延燒全台」『臺灣光華雜誌』6月号による。

<sup>37</sup> 同注36。なお、内政部2018年の資料によると、世代別に見る台湾人の改名は表5と表6のようになる。

<sup>38</sup> 蕭陳生謝(2021)による。

した「鮭の乱」がその例である。台湾スシローは2021年3月17－18日に、名前に「鮭魚」両字かその同音字のある台湾人が割引か無料で消費できるプロモーションイベントを行った。そのために、330人以上の改名騒動が起こった。字数制限がない<sup>39</sup>という「姓名條例」が自由のもとで利用され、いろいろな名前ができたのである。次は干支の兎年で、名前に「兔」の字があったら、VVIPの資格を得て、一年間無料で映画を見られるキャンペーンのためにわざわざ改名した例もある。映画が好きだとか、仕事上、多く映画を見る必要があるとかいう理由であった<sup>40</sup>。

この改名のを見て、一部の立法委員はある期間内で再度改名ができないように法令を修正すべきだと言ったが、人格権を重視すべきだという意見もあった。



図1 鮭騒動の改名例（TVBS2022年1月1日放送による）

<sup>39</sup> 但し、身分証明書作成のコンピュータシステムでは中国語が最多 50 字という制限がある。

<sup>40</sup> 陳（2022）による。

表8 鮭騒動の改名上位5名

字数	改名後
50	陳政成有震天龍砲變身基隆最專情於二零二一三月十四日與孔安穩定交往中愛妳愛一生一世此生想帶妳一起吃鮭魚
40	李圭歸瑰規珪閏邽龜鮭魚於瑜餘娛虞孟好漁愚愉于余瑜腴予與渝嶠榆算了我想得好累隨便啦
40	○○○德國語文系雅馬哈發動機壓車磨膝鮭魚大元帥謝謝xxx讓我改名字△△大戶發大財（注：○○○は本名、xxxは母親の名前、△△は居住地、雅馬哈は「山葉」）
36	陳愛台灣國慶鮑鮪鮭魚松葉蟹海膽干貝龍蝦和牛肉美福華君品晶華希爾頓凱薩老爺
32	高仕承臺灣高雄楠梓之子爆裂高屏阿承楠梓後勁溪迴游之祖鮭魚智波佐助

（Wiki 中華民國國民姓名字数排行 <https://zh.wikipedia.org/zh-tw> による）

## 4.2 日本の場合

日本人の改名はアイヌ名の和名への強制改名の場合と普通の和名の場合に分けて考えられる。

### 4.2.1 アイヌ名の和名への強制改名の場合

北海道立図書館によると、アイヌ民族の日本国民への編入が名実共に具現化されたのは、1871（明治4）年4月4日公布の戸籍法（翌2月1日実施）によって、新たに平民として戸籍に登録する過程においてであった。アイヌの戸籍が完成されたのは1875～76（明治8～9）年頃とされているが、そのとき、創氏の強制があった。例えば、根室支庁は、1876（明治9）年7月19日、「旧土人、是迄姓氏用ス者コレ有候処、自迄一般姓氏相用フヘシ」と達し、次いで翌月には、「旧土人姓氏ハ成ヘク普通ノ邦言ヲ称」するように厳達し、戸籍への登録に際し、創氏し、しかも和人風の姓氏を名乗るように強要した。根室支庁だけではなく、他の支庁でも同じだったと見られる<sup>41</sup>。

但し、遠藤（2002）によれば、明治期の北海道ではアイヌ人は戸籍簿には日本語の姓名を登録しながら、漢字表記される姓名をあまり使用しなくて、アイヌの人々の間ではアイヌ名が依然として用いられた。しかし、現代ではアイヌ人は戸籍上、和人と同じように苗字に名前といった和名を使っていると思われる。

<sup>41</sup> 北海道立図書館（2011）「明治期のアイヌ人の和人名化について」による。

アイヌ民族は近代において侵略、搾取と差別を受けた。曾野(1979)では人の名前がその酷い歴史の証拠であることについて述べられている。例えば、アイヌの作家鳩沢佐美夫の遺稿には次のような内容がある。これはアイヌ人が和人にいじめられた例の一つである。

アシコというアイヌ青年が役所から父がもらって来た書類を見たら(中略)父、サシコム、母、マタヒラケ、五男、カイセン、とおれの名前が書いてあった。それを見て父につめ寄ったが、父がオロオロするだけであった。ただ、一年に一度巡ってくる役人に、家族の変動をたずねられて、前年に生まれたお前のことを話した。そのとき、おまえの頭や体に、疥癬のようなものがあつたことはたしかだ……(曾野(1979) p.25)。

内閣官房アイヌ総合政策室2016年の報告書<sup>42</sup>によると、現在では、「就職する時、名前から不採用になることがある」(p.7)といったようなアイヌ人の意見が聞かれる。そして、いろいろな記事や資料におけるアイヌ人の名前は他の日本人と同じような和名である<sup>43</sup>。

#### 4.2.2 和名の場合

日本の法律では、正当な事由によって、戸籍の名を変更するには、家庭裁判所の許可が必要であるが、正当な事由とは、名の変更をしないとその人の社会生活において支障を来す場合をいい、単なる個人的趣味、感情、信仰上の希望等のみでは足りないとされている。NHKによると、いま日本では年間4000人以上の人が名前を変えている。それには次のようなケースがある。(1)性と名前の不一致に悩む人、(2)キラキラネームをきっかけに親子の関係を見つめ直した若者、(3)親から受けた不快の記憶を断ち切り人生のリセットを期す人、(4)過去に犯した罪を償った後も実名が世間に拡散しいつ

<sup>42</sup> 内閣官房アイヌ総合政策室(2016)「国民のアイヌに対する理解度についての意識調査」。

<sup>43</sup> 例えば、Yahoo!ニュース特集編集部(2017)に出た大学生はアイヌであるが、名前は和名風の「芦沢一行」である。

までも再出発できない人<sup>44</sup>。そのほかに、書きづらいこと、読みづらいこと、いじめや差別を助長すること、犯罪者と同名であること、家族と同名になった場合、精神的苦痛を伴う場合などが考えられる。なお、15歳未満の申立人は法定代理人が変更を代表することになっている<sup>45</sup>。

### 4.2.3 改名騒動

日本における改名事例はいろいろあるが、ここでは悪魔ちゃんと王子様という改名騒動について考える。

#### 4.2.3.1 悪魔ちゃん

京都橘高校吹奏楽部はその素晴らしい実力によって「オレンジ色の悪魔」と呼ばれているが、それには敬意と畏れる心理が込められていると思われる。



図2 2022年10月10日台湾総統府前にて  
(陳(2022)による)

しかし、我が子のことを「悪魔」と名づける親の考え方はどうしても分からない。1993年に東京都のスナック経営者が生まれた男の子に「悪魔」と名づけた。いったん受理されたが、東京法務局では親権の濫用で、社会通念上、問題があるとして不受理とした。親が不服申し立てを行い、裁判の結果、勝った。しかし、結果的には世間に伝えたいことが伝わったとして、母親の提案の「亜駆」という名前で申請し、受理された。命名の理由としては、悪魔が世界で最強で、何かでトップになる、そんな子に育ててほしいから、と父親が述べたとされる<sup>46</sup>。確かに人名用漢字の範囲内で法律違反には

<sup>44</sup>NHK2019年9月4日の番組「クローズアップ現代 “改名”100人～私が名前を変えたワケ～」による。

<sup>45</sup> 裁判所 HP「名の変更許可」による。

<sup>46</sup> 朝日新聞(2019)「【悪魔ちゃん命名騒動】本人の現在と父親のその後」による。

なっていない。しかし、道徳的には考え物なので、悪魔命名の際、台湾でも新聞記事で報道された。

#### 4.2.3.2 王子様

2019年に、「赤池王子様」という18歳の高校卒業生が一人で家庭裁判所へ行って名の変更許可申立書を提出した。名前変更の許可が下りて、Twitterで改名のことを公表したら、大きく反響を呼んだ。改名の際、多くのメディアから取材の依頼を受けてうんざりしたが、3年間経過した2022年12月24日に、文春オンラインからのインタビューを受けた。「王子様」名付けについては母親が「私の大事な息子という意味だよ。私にとっての王子様だから」と言ったが、本人は「僕には僕の人生がある」とか、「将来のこと」のためだと述べている。赤池によると、名前のためにいじめを受けたことはなかったが、高校一年生の時、自己紹介で笑われたことがある。そして、病院で「王子様様」と呼ばれて気まずかったこともあるし、知らない人に「お前が王子様か」と言われたり、カラオケ店で会員登録したら不審な目を向けられたりしたこともある。学生時代は、「こんな名前を付ける親なんて……」と親が悪く言われることが多く、大人になるにつれて、「この人、なんてこんな名前なんだろう」と自分自身に批判が向けられる、と考えた赤池は高校卒業式の後、改名申立をしたわけである<sup>47</sup>。

### 4.3 台湾と日本の比較

台湾でも日本でも改名のルールが法律で規定されている。日本の和名の「キラキラネーム」も台湾の漢名の「菜市场名」も本人が困った時には改名が許される。しかし、台湾では原住民の「正名運動」もあるし、伝統の名前に回復し、それを身分証明書に漢名と併記する人はいるが、日本のアイヌ人でアイヌ名に回復して登録する資料は本論文の考察では見られなかった。そして、日本における改名はキラキラネームを含めていろいろなパターンが見られるが、台湾の

---

<sup>47</sup> NHK (2019)「“改名”100人～私が名前を変えたワケ～」及び文春オンライン (2022)「『キラキラネーム＝頭が悪い』という偏見が…」による。

ような、食べ物欲しさか娯楽のために改名するケースは観察されなかった。

## 5. おわりに

台湾と同じ漢字使用社会と思われる日本においては、名前は漢字に仮名表記がある。また、人名使用可の漢字としては常用漢字と人名漢字の表のあわせて 2999 字が法律で認定されているが、その読み仮名は法律では決められていない。但し、行政手続きなどのデジタル化を進めるために、2022 年 5 月 17 日に戸籍の氏名に読みがなを付ける法制化に向けた中間試案が、法務大臣の諮問機関である法制審議会の部会によってまとめられた。これは日本語教育の立場から見ても注目すべきことである。漢字は日本と台湾の共通文化財であるが、それぞれの特徴をお互いに尊重すべきである。日本語教育現場では台湾の命名の実態と比較しながら、日本における命名や改名を日本文化理解の一環として大事にすべきである。なお、台湾人学習者の名前を日本式の音読でいいのか、台湾社会における日本人の名前を漢字の中国語式で言えばいいのか、これも続けて考えなければならない課題である。

時代の進歩によって、台湾でも日本でもポストモダニズムの下で自由主義が普及するようになった結果、自分さえよければ何をやってもかまわない、というようなマイナス的思考様式をもつ者が少なくない<sup>48</sup>。命名や改名の場合でもこのような自己中心の要素が見られる。異文化交流人材育成が目的である台湾の日本語教育現場では、命名、改名のような課題で台湾と日本の文化の相違点を観察しながら、世界と繋がる国際視野を広げ、コミュニケーション能力を高めることが期待される。

---

<sup>48</sup> ポストモダニズムと教育学について、詳しくは方永泉(1996)「現代與後現代—後現代主義對於比較教育研究的挑戰與啟示」を参照されたい。



## 付記

本論文は 2023 年 5 月 20 日に日本比較文化学会主催 2023 年度国際学術会議にて口頭発表した「台湾と日本の人名文化—改名騒動から考える」に加筆し、修正を行ったものである。学会参加者及び匿名の査読者から有益なコメントをいただいた。心より深謝を申し上げたい。

## 参考文献

### 日本語の部

- アイヌ民族博物館監修(1993)「成長」『アイヌ文化の基礎知識』(2000年10刷)千葉、草風館 pp.188-189
- 秋田喜美(2021)「日本語の人名における表記の冗長性—関係形態論の観点から」『国立国語研究所論集』21、東京、国立国語研究所 pp.1-13
- 遠藤匡俊(2002)「根室場所におけるアイヌの命名規則と幕府の同化政策」『歴史地理学』44-1、東京、歴史地理学会 pp.48-59
- 岡野富美代(2015)「名前からみる世相 近代100年における変遷」『天理大学考古学・民俗学研究室紀要』16、天理、天理大学 pp.47-60
- 荻原祐二(2015)「近年の日本における個性的な名前の特徴とその類型」『人間環境学研究』第13巻2号、大阪、人間環境学研究会 pp.177-183
- 言語編集部(1997)『月刊 言語 特集 命名の世界』26巻4号、東京、大修館書店
- 新村出(1935)『辞苑』東京、岩波書店
- 新村出(1955)『広辞苑』東京、岩波書店
- 曾野綾子(1979)『日本人の名前』東京、大修館書店
- 徳田克己(2004)「名づけの心理2：読みにくい名前の分析」『日本教育心理学会総会発表論文集』46、東京、日本教育心理学会 p.623

- 西原彰一（2022）「沖縄県女子師範学校・沖縄県立（第一）高等女学校における女学生の「改名」—女学生の「個」と「同化」」『総研大文化科学研究』18、神奈川、総合研究大学院大学文化科学研究科 pp.(17)166-(48)135
- 平野俊彦（2022）「常用漢字・人名用漢字・平仮名・片仮名—法令用語釈義 その9」『広島法科大学院論叢』18、広島、広島大学 pp.1-70
- 三樹彰編（1991）『日本語学 特集 命名』6月号、東京、明治書院
- 水谷修（1990）「日本事情とは何か」『月刊言語』19-10、東京、大修館書店 pp.22-27
- 頼錦雀（1994）「日本人名における形容詞」『東呉日本語教育學報』17、台北、東呉大学pp.57-78
- 渡辺薫編（2023）『週刊朝日』2023年1月27日号、東京、朝日新聞出版
- 朝日新聞（2019）「【悪魔ちゃん命名騒動】本人の現在と父親のその後」 <https://anohitohaima.tokyo/post-280/>（2023年1月10日閲覧）
- 裁判所「名の変更許可」 [https://www.courts.go.jp/saiban/syurui/syurui\\_kazi/kazi\\_06\\_20/index.html](https://www.courts.go.jp/saiban/syurui/syurui_kazi/kazi_06_20/index.html)（2023年2月6日閲覧）
- チャーター（2023）「「陽葵」の意味・読み方【人気の名前特集 vol.6】」「ままのて」 <https://mamanoko.jp/articles/30709>（2023年2月4日閲覧）
- 内閣官房アイヌ総合政策室（2016）『国民のアイヌに対する理解度についての意識調査 報告書』 [https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ainusuishin/pdf/rikaido\\_houkoku160322.pdf](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ainusuishin/pdf/rikaido_houkoku160322.pdf)（2023年2月7日閲覧）
- 日本経済新聞（2023）「戸籍読み仮名、一定ルール「一般的」24年度にも開始」 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUE17A1Q0X10C23A2000000/>（2023年3月3日閲覧）
- 文春オンライン（2022）「『キラキラネーム＝頭が悪い』という偏見

が…」18歳で「王子様」から改名した男性の現在 赤池肇さん  
インタビュー#1」<https://bunshun.jp/articles/-/59315> (2023年1月  
2日閲覧)

法務省(2022)「戸籍法施行規則(抄)執行日 令和4年4月1日令  
和四年法務省令第七号による改正」 [https://elaws.e-gov.go.  
jp/document?lawid=322M40000010094](https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=322M40000010094) (2023年2月4日閲覧)

北海道立図書館(2011)「明治期のアイヌ人の和人名化について」レ  
ファレンス協同データベース [https://crd.ndl.go.jp/reference/  
modules/d3ndlcrdentry/index.php?page=ref\\_view &id=1000199779](https://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3ndlcrdentry/index.php?page=ref_view&id=1000199779)  
による。(2023年2月6日閲覧)

明治安田生命(2020)「時代による名前の人気の変遷」  
<https://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/ranking/topics/others1.html>  
(2023年2月4日閲覧)

明治安田生命(2023)「生まれ年別名前ベスト10」  
[https://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/ranking/year\\_men/boy.html](https://www.meijiyasuda.co.jp/enjoy/ranking/year_men/boy.html)  
(2023年2月4日閲覧)

NHK クローズアップ現代(2019)「“改名”100人～私が名前を変え  
たワケ～」2019年9月4日放送、[https://www.nhk.or.jp/gendai/  
articles/4322/](https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4322/) (2023年2月4日閲覧)

NHK(2022)「“戸籍の氏名に読みがな”法制化へ中間試案 法制審  
議会の部会」2月17日放送 [https://www3.nhk.or.jp/news/html/  
20220517/k10013629761000.html](https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220517/k10013629761000.html) (2023年2月4日閲覧)

Yahoo!ニュース特集編集部(2017)「アイヌとして生きる若者たち  
一薄れゆく民族意識の中で」[https://news.yahoo.co.jp/feature/  
817/](https://news.yahoo.co.jp/feature/817/) (2023年2月6日閲覧)

## 中国語の部

方永泉(1996)「現代與後現代—後現代主義對於比較教育研究的挑戰  
與啟示」『教育：傳統、現代化與後現代化』台北、師大書苑  
pp.145-164

- 內政部(2018)『全國姓名統計分析』台北、內政部
- 丘延亮(2019)「原住民」命名及其政治的論詰解構」『台灣原住民研究論叢』25、台北、台灣原住民教授學會 pp.41-65
- 林修澈(2019)「台灣原住民族傳統人名登錄的困境」『國立民族學博物館調查報告』147、大阪、國立民族學博物館pp.15-30
- 黃季平(2019)「原住民族的人名體系：「還我姓名」的抉擇」『國立民族學博物館調查報告』147、大阪、國立民族學博物館 pp.31-43
- 中時新聞網 2022/05/26「更名「鮭魚」改不回去求立委解套 鄉民狂酸：為300人修法？」<https://www.chinatimes.com/realtimenews/20220526005633-260405?chdtv>(2022年10月15日閱覽)
- 內政部(2015)「姓名條例」<https://law.moj.gov.tw/LawClass/LawAll.aspx?pcode=D0030011> (2023年2月5日閱覽)
- 台灣·中央研究所中文詞知識小組「康熙字典知識本體」[https://ckip.https://ckip.iis.sinica.edu.tw/project/ehownet\\_kangxi](https://ckip.https://ckip.iis.sinica.edu.tw/project/ehownet_kangxi) (2023年2月5日閱覽)
- 自由時報(2023)「為看整年免費電影 高雄有2人改名有「兔」字」<https://news.ltn.com.tw/news/life/breakingnews/4186703>(2023年1月16日閱覽)
- 夷將·拔路兒Icyang Parod(2022)「自己的名字：臺灣原住民族傳統命名文化特展」致詞稿」國家圖書館 [https://www.ncl.edu.tw/information\\_237\\_13075.html](https://www.ncl.edu.tw/information_237_13075.html) (2023年2月1日閱覽)
- 張夢瑞(2005)「有改有保庇?—改名風延燒全台」『臺灣光華雜誌』6月号、台北：新聞局 <https://www.taiwan-panorama.com/Articles/> (2022年10月15日閱覽)
- 陳玉梅(2022)「京都橘高校給台灣的生日禮物」<https://talk.ltn.com.tw/article/breakingnews/4084445> (2022年10月10日閱覽)
- 蕭雅心 陳建邦 劉漢生 謝育炘(2021)「所有神祝福的寶貝·全台最長姓名25字!|華視新聞 <https://news.cts.com.tw/cts/life/202103/202103032033281.html>(2022年10月15日閱覽)
- TVBS(2022)「回顧2021全台鮭魚之亂! 331人改名為吃免錢」

2022年1月1日放送。https://news.tvbs.com.tw/life/1679618(2023  
年2月1日閲覧)